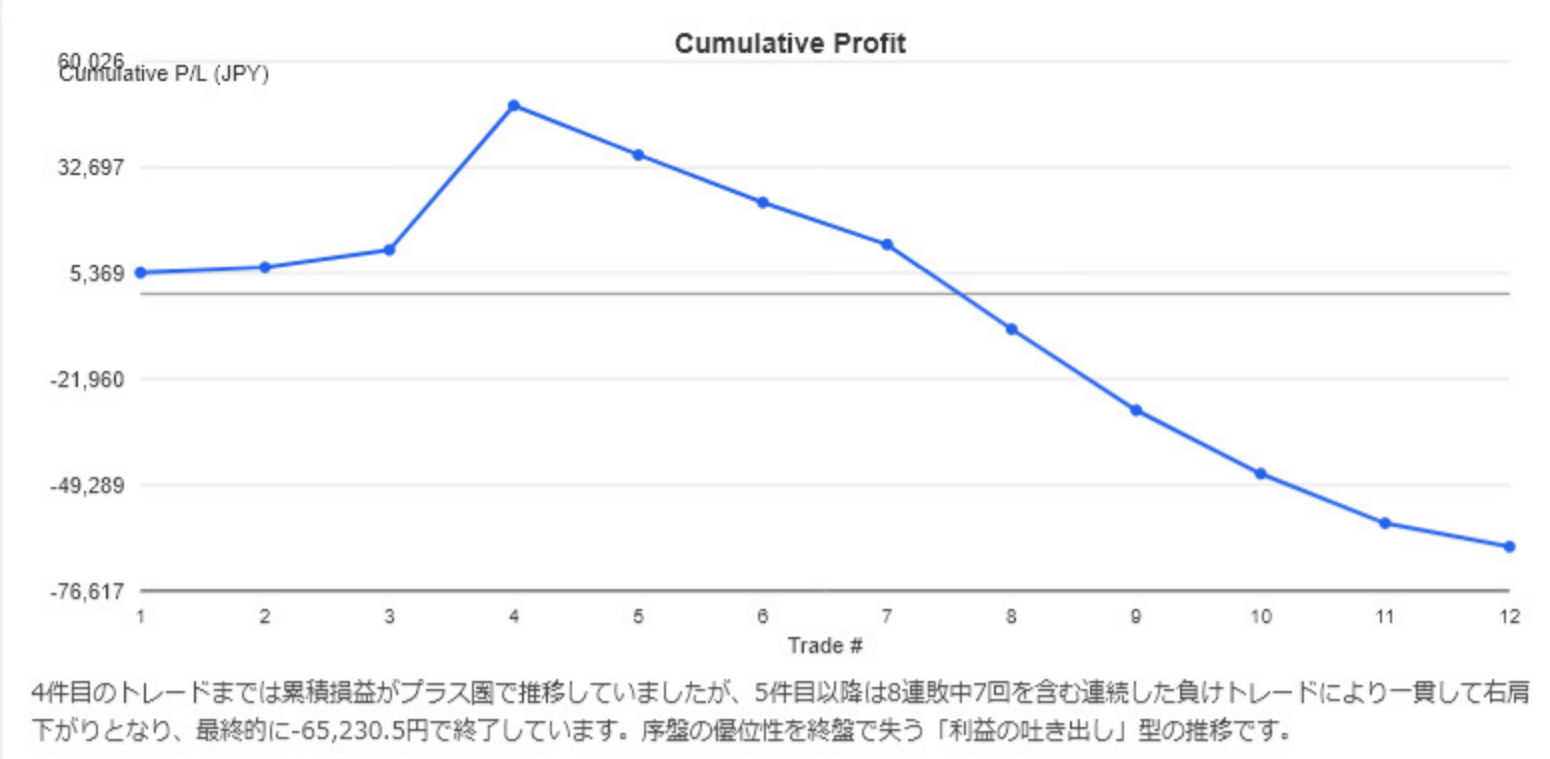


Step 1：統計要約

トレード期間	2026年03月21日 23:59:59 ~ 2026年04月03日 19:59:59
総トレード数	12件
総損益	-65,230.5 円（口座通貨建て、単位不明）
勝ちトレード	4件／合計 +48,639.2 円
負けトレード	8件／合計 -113,869.7 円
勝率	33.33%
プロフィットファクター	0.43
平均リスクリワード	0.85（平均勝ち 12,159.8 円 ✕ 平均負け 14,233.7 円）
平均損益	-5,435.9 円／トレード
平均pips	銘柄不明のため算出不可
最大ドローダウン	113,869.7 円（累積損益ピーク 48,639.2 円からの下落率 234.1%）

Step 2：グラフ+コメント

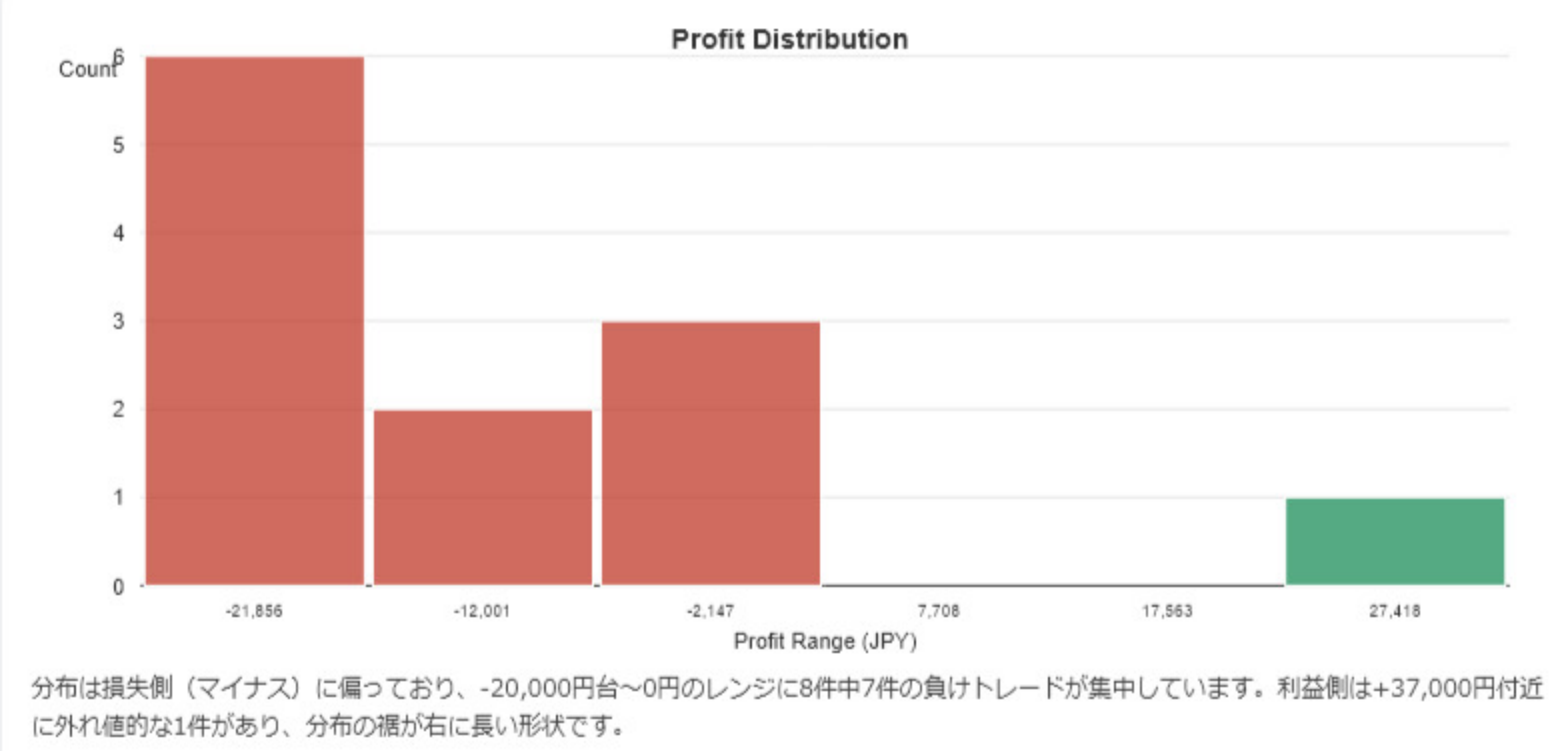
1. Cumulative Profit



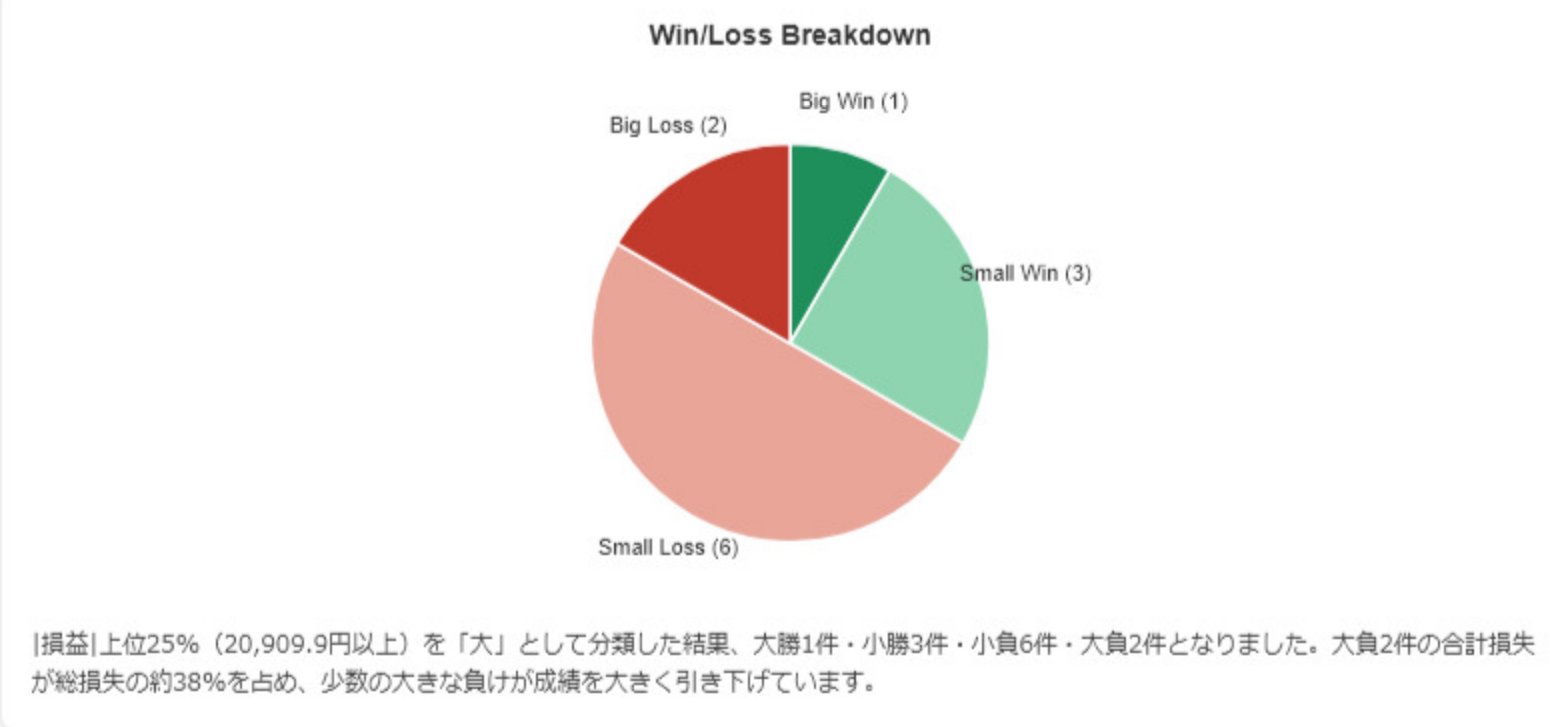
2. Trade-wise Profit



3. Profit Distribution



4. Win/Loss Breakdown



5. Max Drawdown per Trade



Step 3：AIジャッジメント

	勝率安定性	勝率33.3%かつ5件目以降8連敗中7回という偏った連敗が発生しており、安定性は低いと判断します。
	ボラティリティ対応力	bars.csvの平均1時間あたり値幅（約70,525）に対し、各トレード保有期間中の値幅は平均で概ね20～40%程度に収まっており、極端なレンジでのエントリーは見られません。ただし8件目（保有7時間で値幅比0.63）はやや値動きの荒い局面で仕掛けており、この点は改善余地があります。
	リスク管理	全トレードでロット数0.1と一定であり、ポジションサイズ自体は管理されています。一方で5～9件目のように含み損が拡大する局面でも同方向の新規エントリーが続いており、損失を止める仕組み（損切りルールへの遵守や連敗時のロット調整）が機能していない可能性があります。
	総合評価	序盤の1回の大きな勝ちトレードで一時的にプラス圏に入ったものの、その後8回中7回の連敗でドローダウンが拡大し続け、回復のないまま集計期間を終えています。プロフィットファクターも0.43と1を大きく下回っており、現状のロジック・運用のままでは継続的な収益化が難しい状態です。

Step 4：課題と改善提案

課題①：連敗時にポジションサイズ・エントリー基準が変化しない 内容：5～11件目にかけて8連敗中7回が発生しているにもかかわらず、ロット数は全トレードで0.1のまま一定で、連敗後もエントリー頻度・方向性に変化が見られません。 改善案：一定回数（例：3連敗）以上の連敗が発生した場合に一時的にロットを縮小する、またはエントリーを停止するフィルターを組み込む。
課題②：損切りが遅く、平均負け額が平均勝ち額を上回っている 内容：平均勝ち12,159.8円に対し平均負けは14,233.7円で、リスクリワードが0.85と1を下回っています。勝率33.3%との組み合わせにより、期待値がマイナスになっています。改善案：損切り幅を平均勝ち額以下に抑えるルール（例：固定pips・ATRベースの損切り）を導入し、リスクリワードを最低1.0以上に改善する。
課題③：大きな負けトレード（大負2件）が成績を大きく悪化させている 内容：「損益」上位25%に該当する大負2件（-21,856.4円、-20,909.9円）の合計が総損失の約38%を占めており、一部の大きな負けが全体成績を支配しています。改善案：1トレードあたりの最大許容損失額（例：口座資産の一定割合）を事前に設定し、それを超える含み損になった時点で強制決済するリスク上限ルールを設ける。

【注記】
・銘柄名・時間帯・口座通貨単位はデータ列に含まれていないため略定しています（価格帯から見て円建て口座と推測されますが確定情報ではありません）。
・pips換算は銘柄が不明なため算出していません。
・最大ドローダウンの%は「累積損益カーブのピーク値に対する下落率」として算出しています。
・ボラティリティ対応力の評価は、bars.csv（1時間足）から算出した各トレード保有期間中の値幅（高値-安値）と、全期間平均の1時間あたり値幅（約70,525）との比較に基づいています。
・swap・commission列は本データでは全て0でした。